

◆1ページ
 ・「新任副園長・教頭研修」他
 ・学校の取組紹介（黄金山小学校）

◆2ページ
 ・言語活動の充実シリーズ
 ・今月のお勧め資料
 「新任副園長・教頭研修」他
 特別セミナー案内

H26 11.28 「新任副園長・教頭研修」他

よりよい学校を目指して

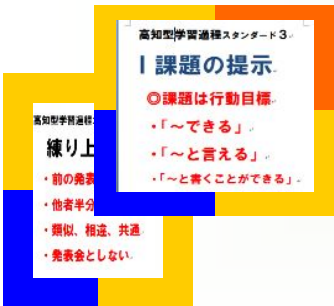
学校改革の3本の矢！

校務のリニューアル 校内研修の改革 教員個人レベルの授業改革



上の写真は、11月28日に合同開催した「新任副園長・教頭研修」と「園長・校長研修Ⅱ」，「副園長・教頭研修Ⅱ」の一コマです。
 講師の西留安雄先生（高知県教育委員会学力向上スーパーバイザー）から、学校改革のポイントとして次の3点を中心としたお話がありました。

- **校務のリニューアル**
 - ・教育活動直後に評価・改善プランの作成を行うDCAPサイクルを確立
 - <効果>
子どもと向き合う時間の確保による、充実した教育活動の推進
- **校内研修の改革**
 - ・授業改善への課題と改善策の提示に特化したワークショップ型の研究協議会
 - ・子ども代表が参加する研究協議会
 - <効果>
子どもの理解や目線を大切に授業実践
- **教員個人レベルの授業改革**
 - ・「プロフェッショナルティーチャーズノート」の作成・活用
 - ・「まなブック」の活用
 - ・子ども同士の主体的な学び合いを目指す「学習過程スタンダード」の確立
 - <効果>
問題解決型の授業実践による子ども同士の主体的な学び合い



「今月のお勧め資料」に資料を紹介していますので是非ご活用ください。

基礎・基本を確実に定着させる ICTの効果的な活用

黄金山小学校

広島県小学校視聴覚教育研究大会会場校

11月11日（火），黄金山小学校において，広島県小学校視聴覚教育研究大会が開催されました。本年度，ICT活用を通して基礎的・基本的な学力の定着を目指した指導の在り方を中心に研究を進められました。授業を通して，ICTの特性を生かした活用や効果的なデジタル教材の作成，提示の工夫を積み重ね，目標を明確にもった活用の大切さを提案されました。

導入場面での活用



教師の意図した提示

視覚による支援

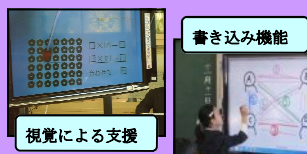
ゲーム感覚で提示したり，一部を隠して提示するなどの工夫が簡単

大きく映す，繰り返し提示が可能

意欲をもたせ考えるきっかけを与える。

・見ることで理解しやすく，活動の手順も分かりやすい。
・繰り返すことで確実な定着を図ることができる。

表現場面での活用



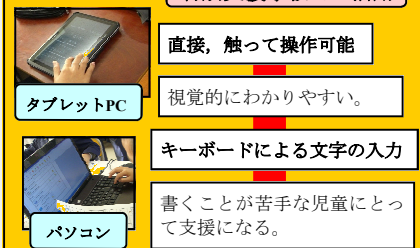
視覚による支援

書き込み機能

大きく映すこと，書き込むことが可能

指し示したり，書き込むことで説明の仕方に幅ができる。表現力の育成につながる。

特別支援学級での活用



タブレットPC

パソコン

直接，触って操作可能

視覚的にわかりやすい。

キーボードによる文字の入力

書くことが苦しい児童にとって支援になる。

一人一人の課題に沿って学習内容を複合的に計画・実践することが可能になる。

コミュニケーション能力の育成のために

【引用・参考文献】

- 平木裕『中等教育資料（平成23年12月号）』
- 平木裕「視学官・教育調査官の【講義ノート】」
『内外教育 平成24年12月18日号』

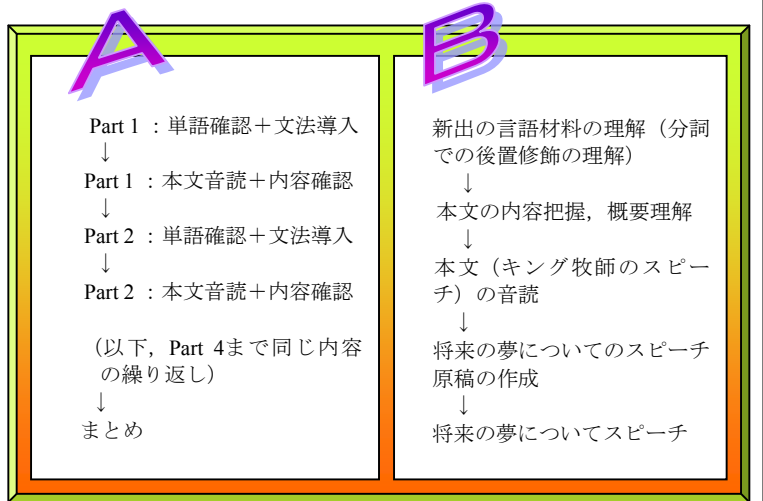
①目標に向かう言語活動の設定

日頃、学習指導案や実際の授業を参観する際に、様々な言語活動が設定されているものの、「英語を使ってどんなことができるようになることを目指すのか」が伝わってこないことがあります。

その一例が右に示すAです。セクションやパートごとに文法や新出単語の導入、本文の理解、練習を繰り返す「セクション積み重ね方式」と呼べるような計画です。

一方Bでは、本文の特徴を生かしながらスピーチという言語活動へとつなげ、書くことや話すことの力を育成しようとしている意図を読み取ることができます。

このように、単元において「子どもたちにどのような力を身に付けさせたいのか」（**単元の目標**）を明確にし、その目標に向かって少しずつ近づいていくような単元計画にすることが大切です。その中で、**目標達成に向けた言語活動を設定し、実施していくことが重要**です。



②効果的な言語活動例

～毎時間行うベルトアクティビティ～

単元の目標を達成するために必要な知識や能力を、意図的・継続的・計画的に身に付けさせるための効果的な言語活動例として、ベルトアクティビティ（帯活動）が考えられます。

毎日の授業において、このベルトアクティビティを短時間で、繰り返し、計画的に行うことで、身に付けさせたい知識や能力を、効果的に育成することが可能になると考えられます。

右の例は、「人を紹介するスピーチを行う」言語活動を設定した際の、川西和子教諭（日浦中学校）の実践例です。

- ① 今月の歌・・・雰囲気づくり、英語学習に対する動機付けを行う。
- ② チャンツ・・・発音の際のイントネーションやリズム等を身に付ける。
- ③ ペア活動・・・**身に付けさせたい表現や文構造に係るドリル練習**などを行う。
- ④ リーディング教材
・・・**主に他者を紹介する文章に触れる**ことで他者を紹介する文の形式に慣れるとともに、必要な語彙・表現に繰り返し触れる。
- ⑤ 小スピーチ活動
・・・**スピーチをすることに慣れる**とともに、**スピーチに必要な所作、聞き手の姿勢**などを学ぶ。

ポイント

言語活動では、実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝えあうなどの活動が重要です。そのためには、それを支える言語材料について理解したり練習したりする活動を充分に行う必要があります。どちらか一方の活動を強く指向するあまり、もう一方の活動が不十分になることのないよう、この両者のバランスに配慮して指導することが大切です。

今月のお勧め資料

西留先生の資料を内部Webにupしています。教師の授業力向上を目指し校内で統一して取り組む事項を明確にした学習過程のスタンダードがよく分かる資料です。すべての校種にお勧めです。



SEARCH 広島市教育センター GO

土曜開館特別セミナー

1月17日（土）
13:30～15:00

新年度準備シリーズ 第1回

「4月が待ち遠しい ー掲示物を作ろうー」

給食当番表や掃除当番表などをエクセルやワードで作成してみませんか。ちょっとした工夫で楽しい掲示物ができますよ！